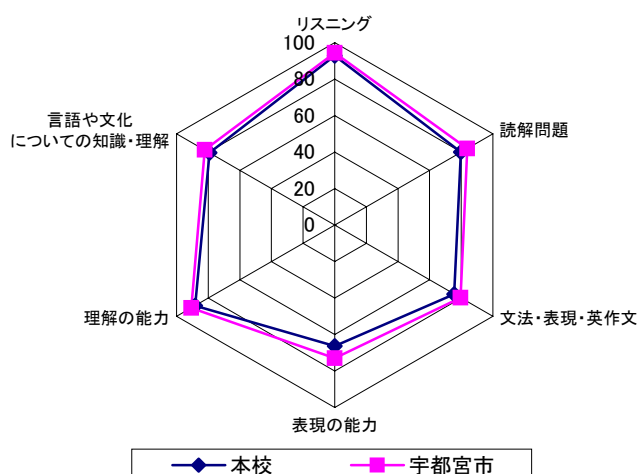


宇都宮市立上河内中学校第1学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	92.9	94.4
	読解問題	79.8	83.9
	文法・表現・英作文	75.6	79.7
観点別	表現の能力	66.3	73.0
	理解の能力	88.2	90.7
	言語や文化についての知識・理解	79.2	82.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (92.9%)	・少しでも英語に慣れさせるためにClassroom Englishをはじめ、多くの英語を使いながら授業を進めているため少しずつ成果で出てきている。しかし、まとまりのある英文を聞いて内容を理解したり、問いかけに対しての応答の仕方を十分に身に付けていないと思われる。	・音声によるコミュニケーション能力を高めるために、今後も既習の言語材料を用いた対話練習や、場面を設定した言語活動を続けていきたい。聞くこと話すことの言語活動を増やすとともに工夫しながら行うことが必要と思われる。さらにALTを積極的に活用し英語に触れる機会を増やしていきたい。
読解問題 (79.8%)	・授業で英語特有の表現などに注意させ、また教科書の本文を用いて継続的にQ&AやTFを行っており、少しずつ読解力がついてきている。しかし、対話文の内容把握問題では市に比べて低い正答率である。これはまだ読み取りの力が身に付いていない生徒が多いと言える。今後対話の流れを意識させた指導が必要であると思われる。	・長い文章に触れることの少ない1年生にとって、一文一文解釈することに集中しがちである。読みとりのポイントを十分指導し、英文を見たとき大まかな流れ、概要や要点を捉えさせるような読みとりを身に付けさせていきたい。その時基本となる英語の語彙、基本文法、問いかけに対する応答の仕方を身に付けさせることは大切であり、しっかりと指導していきたい。
文法・表現・英作文 (75.6%)	・本校生徒の英語学習において大きな課題である。並び替えの問題に比べ、和文英訳の問題では市の正答率をかなり下回っている。授業で基本文や単語は授業で何度も繰り返し発音させているが、書くために必要な単語や表現が生徒に定着してらず、今後単語テストを行うなど継続的な指導が必要である。	・英語の学習意欲、特に表現力を高めるために、ALTとの協同授業において生徒が英語を話す雰囲気や必然性を作り、積極的に英語を話し、英語でのコミュニケーションの楽しさを感じさせたい。また書くことにおいては、書く力を付けさせるために教科書の基本文を暗唱させるだけでなく、繰り返し書かせる活動を定着させたい。